

伊勢志摩国立公園横山集団施設地区における持続可能な利用環境の保守管理運営業務に関する企画提案書の評価基準及び採点表

(別紙2)

評価項目		要求要件	評価 区分	得点配分			技術上の基準		基礎点 の採点	加点の 採点
大項目	小項目			合計	基礎点	加点	基礎点	加点		
1 運営方針		横山集団施設地区の利用実態・課題を具体的に述べた上で、同地区における制度趣旨、事業ビジョン・目指すべき活用方針や利用者サービスのあり方等について示すこと。	必須	20	5	15	業務の目的を的確に理解し、妥当な運営方針であること。	運営方針に創造性、確実性があるか。		
2 業務の実施体制・人員配置		実施体制、役割分担、職員研修及び再委託業務管理について示すこと。	必須	25	5	20	適切な役割分担等により実施体制が構築されていること。	効果的、効率的な人員配置がなされているか。職員研修体制や再委託内容とその管理について、具体的に確実性がある場合に高く評価する。		
3 対象施設の運営方法について									—	—
	① 運用期間及び時間、並びに利用料金・運賃	・一般運用及び有料シャトル運用について、それぞれの運用期間と運用時間について明示し、その考え方、周知方法、安全を確保した運用・人員配置方法について示すこと。 ・一般運用時及び有料シャトル運用時の料金・運賃について明示し、想定される年間の収入と支出(保守管理水準及び利用者サービス等)の配分とその考え方、減免・合理的配慮の考え方を含めて示すこと。	必須	15	5	10	提案された内容が具体的に適切なものであること。	提案された料金水準の妥当性(想定額と利用者サービスとの関係の妥当性)があるか。減免・合理的配慮、負担額の説明として妥当性があるか。		
	② 利用者への説明案内・現場運営	・利用者への事前案内、現場での駐車場満空案内や誘導など、具体的な内容について示すこと。 ・利用者からの苦情対応、合理的配慮、制度や運用に関する説明について、多言語対応やアクセシビリティ対応も含めて具体的に示すこと。	必須	20	5	15	提案された内容が具体的に適切なものであること。	提案された内容が利用者目線に立った取組として効果的であり、確実性があるか。		
	③ 有料シャトル便	・有料シャトル便の適法性を示すこと。 ・有料シャトル便の運行内容(想定車両、便数、利用者対応等)について具体的に示すこと。 ・安全管理・運行中止基準及び混雑対応を示すこと。	必須	15	5	10	提案された内容が具体的に、有料シャトル便の適法性があること。	提案された設定日程・輸送力・便数に妥当性があるか。安全管理・運行中止基準及び混雑対応について妥当性があるか。運行経路の妥当性・実現性があるか。		
	④ 交通・安全・緊急対応	・一般運用時、有料シャトル運用時及び時間外閉鎖時の安全・防犯運用について示すこと。 ・歩車分離、事故防止、停電、災害、夜間、BCP、出動時間、有料シャトル運用時の一般車両進入抑止、安全誘導について、各項目について具体的に示すこと。	必須	10	5	5	提案された内容が具体的に適切なものであること。	提案に係る追加的業務が具体的にあり、業務目的を達成する上で必要かつ効果的なものであるか。		
4 業務継続性・収支見込・収支管理		・令和9年1月から令和14年3月31日までの業務期間における年次計画を示すこと。 ・令和9年度から令和13年度までの収支見込み(計算の根拠を含む)について示すこと。 ・料金の収受方法と管理、不正防止、決済セキュリティについて、一般運用時と有料シャトル運用時とを分けて示すこと。	必須	20	5	15	・年次計画が具体的に適切なものであること。 ・収支見込が、具体的に確実性があること。 ・料金の収受方法・管理、不正防止が具体的に適切なものであること。	年次計画の実現性が高く、本業務の実施にあたり有効なものであるか。収支が赤字となってしまう場合に備え、赤字を吸収する見込みや考え方が具体的に示され、かつ確実性があるか。料金管理、不正防止、決済セキュリティについて、効果的で確実性があるか。		
5 地域連携		・自然ふれあい推進活動に係る活動計画、考え方について記載すること。 【任意】地域連携の取組として想定されるものがあれば具体的に記載すること。	必須	30	5	25	内容が具体的に適切なものであること。	本公園の様々な自然体験を体験できる活動計画であり創造性、確実性があるか。地域連携の取組として、効果的な提案がなされている場合に高く評価する。		
6 自主事業、収益活用		収益を活用した自主事業について具体的に提案し、それによる効果や管理事業との関連性等について記すこと。	任意	35	—	35	—	本業務の目的に適合し、保守管理事業に支障を及ぼさず、本国立公園又は当該地区の価値及び魅力の維持・向上に資すると判断されるもので、具体性・実現性があるか。 当該地区の価値及び魅力の維持・向上に効果的である場合に高く評価する。	—	
7 環境対策への取組									—	—
	(1) 環境対策への取組(グリーン購入、省エネルギー対策、3R 等)について示すこと。		必須	5	5	—	取組が具体的に適切であること。	—		—
	(2) 応募者がISO14001、エコアクション21、エコステージ、地方公共団体による認証制度(認証期間中であるもの)等のうち、第三者による環境マネジメント認証を取得している場合は取得状況を記載し、証明書の写しを添付すること。		任意	5	—	5	—	事業者の経営における主たる事業所(本社等)において、環境マネジメント認証取得があるか。1つでもあれば加点(5点)。	—	
得点				200	45	155	小計		0	0
				総合得点						0

- ・基礎点部分の採点は、技術上の基準を満たす場合に、当該基礎点全部を得点とする。
- ・加点部分の採点は、配点5点の場合、技術上の基準に基づき、秀;5点、優;4点、良;3点、順良;2点、可;1点、不可;0点、の6段階評価とし、配点に応じて係数をかけて得点を算出する。
- ・基礎点がある項目に係る加点部分の「不可;0点」とは、基礎点の基準は満たす(基礎点は得点)が、加点部分の基準をなら満たさない場合である。
- ・3—③の有料シャトル便の適法性を確認できない場合、基礎点を「不可;0点」とする。
- ・総合得点について各審査委員の採点の平均点が100点未満であった場合、その応募者は選定対象外とする。